

◆動画のストーリー（那覇～胡屋を想定した場合のたたき台）

場面 1

対象エリア全体の都市の姿を俯瞰的に動きながら描写

スクリプト：南北軸上に約 20km に及ぶ魅力的な都市空間が形成

- ・中南部都市圏 58 号ルートを中心とした都市構造、土地利用の全体像を描写
- ・整然と整備された市街地、密集市街地、沿道土地利用、基地跡地利用、地域拠点、観光拠点、中心市街地、港・空港など、現実離れしすぎず且つ現状イメージ踏襲にならないよう CG に工夫

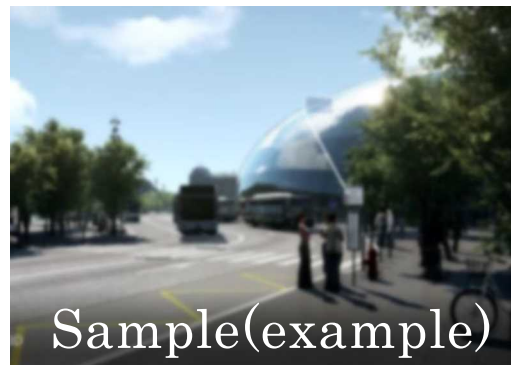


場面 2

近未来型の基幹バスが那覇中心部を走行

スクリプト：基幹バスは社会・経済を支えるインフラとして機能

- ・那覇でのビジネス客、観光客、買物客が、中心ターミナル等から利用する姿
- ・都心のビジネス街、幹線道路上をスムーズに動く姿を描写
- ・基幹バスは、BRT が連想される連節車両で、近未来型のデザイン
- ・基幹バスの快適な車内空間も描写

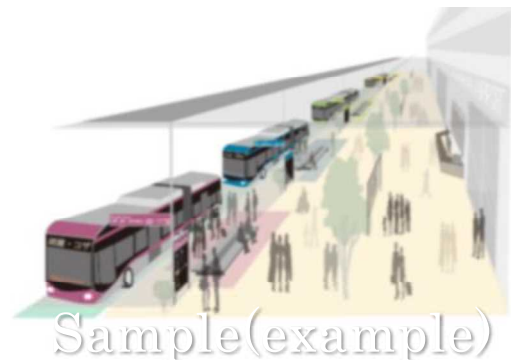


場面 3

方面別にカラーリングされた基幹バスが並ぶターミナル

スクリプト：子ども、お年寄り、観光客でも安心して利用できる基幹バス

- ・方面別にカラーリングされた基幹バスが結節点ターミナルに停車している姿
- ・どこに行くのも、どの基幹バスに乗ればいいのか一目でわかる
- ・バス利用に不慣れた人、高齢者、子ども、観光客でも、安心して利用できる



場面 4

那覇から国道 58 号を北上して浦添、宜野湾の走行空間を描写

スクリプト：自動車並みに早くて快適な基幹バス

- ・58 号ルートを北上し、跡地利用等も進んだ沿線市街地とマッチした走行空間と基幹バスを描写
- ・道路空間内に専用走行空間が確保されているばかりでなく、交差点では優先的な走行がイメージできるよう工夫



場面 5

都市圏の均衡市街地の交通結節点到着を描写

スクリプト：交通結節点では多様なモビリティによる快適生活圏が形成

- ・基幹バスに沿線市街地からの利用者が集まりやすい機能であることを描写
- ・バス停施設は上屋、待ち空間、情報提供版などが行き、コミバス、自転車、新たなモビリティ等による乗換姿を描写
- ・結節点周辺は都市施設が立地し、人々が日常生活拠点として利用している

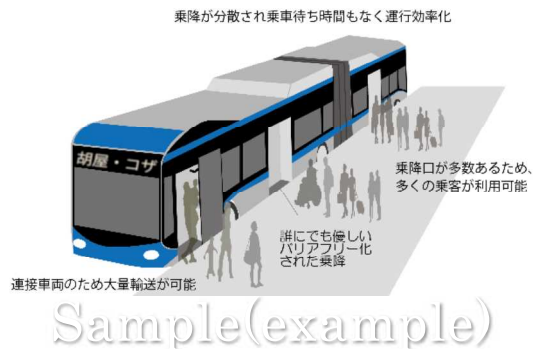


場面 6

バス停や車両の人に優しい施設にスポットをあてる

スクリプト：バス停は快適な待ち空間、基幹バスも低床バリアフリー化

- ・連節車両に加え、基幹バス乗降口が複数あるため、乗降が分散されている
- ・低床車両でフラップも自動化されているため、車椅子でもスムーズに乗り降り可能
- ・車内も広々、大きな荷物やベビーカーなども置き場に困らず利用できる

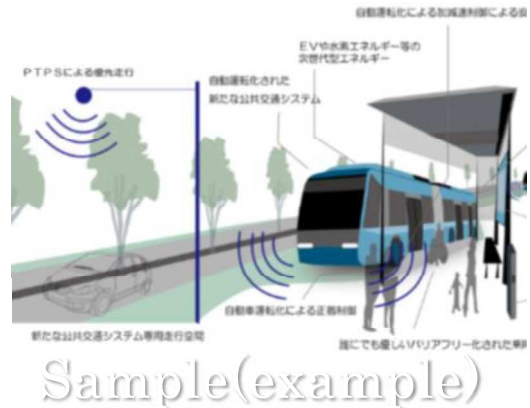


場面 7

先進技術による安全性、正確性、効率性を PR

スクリプト：次世代エネルギー、自動運転化で未来社会をも先導

- ・基幹バスは水素や E V、燃料電池などの次世代エネルギーを利用し、静かで環境に優しい
- ・専用走行空間を活用した自動運転技術が普及され、遅れの少ない正確な運行と運転手不足のも対応
- ・Maas も普及し、支払いもスムーズ



場面 8

西普天間周辺の沿道まちづくりが進んだ区間を走行

スクリプト：基幹バスは沿道まちづくりも支援

- ・跡地利用促進エリアや既存沿道商業エリアでは、基幹バスを利用する多くの買い物などで賑わう姿
- ・西普天間病院に通院する患者も、安心して利用でき、通院にも基幹バス利用が定着している

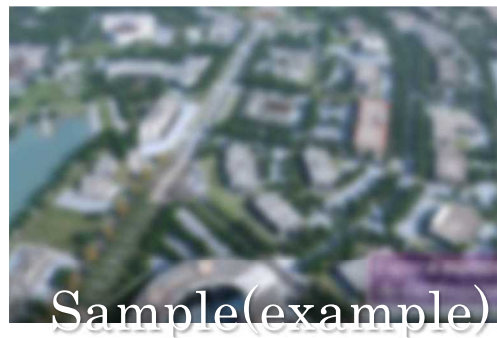


場面 9

郊外部での一体的なまちづくりを進む基幹バス

スクリプト：郊外部でもスムーズに走行する幹バス

- ・郊外部の低密度市街地、沿道利用が少ないイメージ
- ・沿道からのアクセスや交差点も少ないため、緑とマッチした広々とした街並みの中をよりスムーズに走行している姿を描写



場面 10

フィーダーバスやP & Rと連携した基幹バスシステム

スクリプト：より広いエリアからも基幹バスが利用できる

- ・大規模な P&R 駐車場を利用して基幹バスに乗り換えるイメージ
- ・これにより中部圏域の広大な背後圏から基幹バス利用が可能
- ・商業施設の駐車場とのタイアップも想定



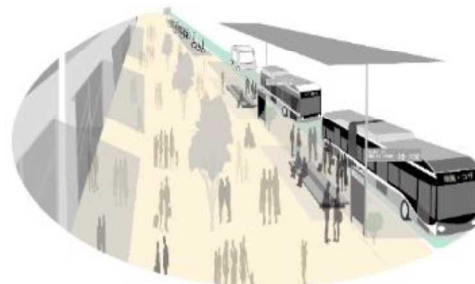
Sample(example)

場面 11

沖縄市では交通結節点

スクリプト：基幹バスは中心市街地の活性化を進める

- ・多くの人で賑わう胡屋交通結節点ターミナルのイメージ
- ・支線バスや多様なモビリティとの乗り継ぎも描写
- ・周辺のアリーナ、観光施設、商業施設などとの連携を描写



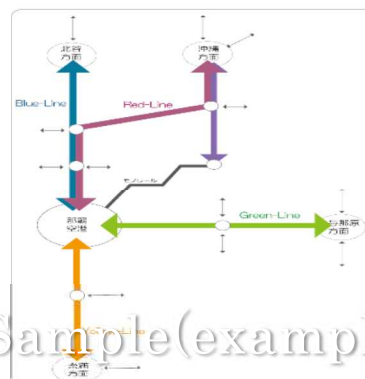
Sample(example)

場面 12

中南部都市圏の基幹バスシステム

スクリプト：沖縄の明るい未来を築く基幹バスシステム

- ・今後のマスタープランを示す
- ・その中で先行して実現化を目指している、国道 58 号ルート



Sample(example)

出典： : Strasbourg.eu & COMMUNAUTE URBAINE、キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地）跡地利用計画 PV、沖縄県総合交通体系基本計画パブリックコメント版